

ことだま

11
2024

[vol.258]

寝屋川市
寝屋川市立市
寝屋川市



誌面のご案内

定例会のあらまし	1
一般質問	2~6
議決結果一覧	7

9月定例会を開催

- ・ 32 件の議案を審議
- ・ 一般質問で議員 21 人が登壇

意見書

9月定例会で可決した意見書は、次のとおりです。

- ◆動物虐待や生活環境被害発生時への対応強化に関する意見書
- ◆自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書
- ◆慢性閉塞性肺疾患 (COPD) の潜在的な患者に対する適切な対応を求める意見書
- ◆今後の新型コロナウイルス感染症の流行に対する経済的支援を求める意見書



会期 **8月28日～9月24日**
(28日間)

市長提出議案	…… 28件
決算	…… 8件
報告	…… 3件
条例	…… 3件
予算	…… 7件
その他	…… 7件
議員提出議案	…… 4件
意見書	…… 4件

9月定例会 議案審議



障害福祉サービス事業所等へのICT導入モデル事業

【補正額】 **178万4,000円**

業務の効率化及び職員の負担軽減を推進するため、障害福祉サービス事業所等にICTを導入する。(モデル事業として実施)

給付対象額 1事業所当たり上限100万円

対象費用 ハード・ソフトウェア、保守サポート、導入研修に関する費用



空き家等の適正管理等及び老朽危険建築物等に係る対策の推進に関する条例の一部改正

主な改正内容

- 特定空き家等に対する措置に「緊急時の代執行」を追加。
※緊急時の代執行：災害などの非常かつ緊急時に、命令などの一部の手続を経ずに市が所有者に代わって必要な措置を行うこと。
- 管理不全空き家等に関し、法による指導又は勧告をする。
※管理不全空き家等：放置すれば特定空き家等に該当することとなるおそれのある状態にあると認められる空き家等のこと。

主な議案の概要

令和6年9月定例会では、議決を要するすべての市長提出議案を可決としました。

子どもの権利に関する条例案の策定

【補正額】 **31万8,000円**

今後の子ども施策に対する市の姿勢を示す、子どもの権利に関する総合的な条例を制定するに当たり、同条例案策定のための審議会を開催する。

審議会メンバー構成 (案)

- ・学識経験者
- ・子ども・子育て事業に従事する者
- ・学校教育に従事する者 など

条例制定時期 (予定)

令和7年度



ターミナル施設駐車場等の整備

【補正額】 **3,055万6,000円**

寝屋川市サービスゲートを始め、中央図書館、(仮称) 子ども専用図書館などのターミナル施設の利用者等を対象とした駐車場及び駐輪場の整備を行う。

整備内容 (予定)

- ・バイク (125cc以下) 駐車場
- ・立体駐車場 駐車場：1階～屋上部分
駐輪場：地下1階部分
- ・車椅子利用者用駐車施設
- ・子供乗せ自転車駐輪場



大阪維新の会議員団

多角的な視点で細やかな

政策の提言を！

奥川口	大輔
瀬戸健太	肇人
中川健	篤志
福田篤志	尚志
古田尚志	清楓
森越清楓	

人生会議の周知について

問 寝屋川市版人生会議ガイド等を作り、ホームページ等で公開し、市民に身近なものにしていく考えは。

答 大阪府が作成したパンフレット等を活用し周知を図っているが、ガイドの作成やホームページでの情報提供など、他市の事例も参考に検討していく。

本市のハラスメント対応について

問 職員が職場の人間関係を気にせず相談できるようにするためにも、外部に相談窓口を設けることや、公平委員会の委員に直接相談できるメニューを持つことも有効であると考えるが、見解を伺う。

答 現在の体制で適切に対応できているものと認識している。

問 ハラスメント防止の取組はしっかりと行われているのに、その根拠となる規程、指針等が整理されていないように見受けられる。文言等の横断的整理をする必要があると考えるが、見解を伺う。

答 規程類を職員にとって理解しやすいものとするにはさることながら、制度自体が理解しやすく、職員

に受け入れられ、利用されることが重要であると考えている。

市民大訓練における若い世代の方々への参加促進について

問 避難所を開設する場合、離れた場所から様々な備品を運ぶ事になり、体力のある若い人の力も必要になると考えるが、若い世代の方々への参加を促す手段は。

答 年代に捉われず、あらゆる世代への参加の呼び掛けとともに、子どもたちにも保護者と共に参加してもらえるよう周知を行い、多くの世代に参加して頂けるよう努めていく。



円滑な避難所開設、運営に向けた取組を！

避難所のペット同行避難について

問 小中学校のペット専用スペースにはどのくらいのペットが避難できるのか。

答 廊下や階段下等を想定しているが、災害の規模や被災者の数等により様々な状態が想定されることから、ペット専用スペース以外の活用についても柔軟に対応していく。

問 実行性を高めるために、ペット同行避難の認知度を調べた方がよいと考えるが、見解を伺う。

答 市ホームページのアクセス数を注視するとともに、市民大訓練での参加者アンケートで確認するなどを検討している。引き続き、更なる周知方法について、検討していく。

災害対応（避難支援）について

問 避難行動要支援者名簿掲載者数は何人か。

答 令和6年8月末時点で8743人。

問 福祉避難所での対応可能な人数は何人を想定しているか。

答 介護施設や障害者施設など26施設、対象者は260名程度。

問 個別避難計画作成の進捗状況は。

答 この取組を推進するに当たり、「寝屋川市個別避難計画の作成に関する検討調整会議」を設置し、関係課等による個別避難計画の活用等に向けた検討を進める中で、まずは個別避難計画の作成を進めている。

高齢者支援について

問 市長申立て以外の案件に係る成

年後見等報酬の助成についての検討状況は。

答 後期高齢者や認知症者数の増加に伴い、成年後見制度の利用が増加傾向にある中、市長申立てについては、頼れる親族がいない場合に限り申立てを行っているが、申請者の経済状況に応じた、より柔軟な対応について検討を進めており、助成対象の拡充について、国の動向を把握し、また、他自治体の取組を調査・研究する中で、導入効果や課題を整理しつつ、検討を進めている。

子ども食堂について

問 フードリボンプロジェクトを展開する一般社団法人ロングスプーン協会との包括連携協定を締結すべきと要望するが、見解を伺う。

答 先行自治体における飲食店や利用者の参加状況、地域で子どもを見守る取組としての効果等を注視していく。

教育委員会におけるクリッピングに係る責任の所在について

問 新聞のクリッピング事件について、市民の血税772万1千円が支出されたことについて、誰がどのよう責任をとるのか。

答 当該事案所管課にあるものであり、著作権に関する認識が甘く、その結果、市財源からの利用支払いに至ったことは関係機関との信頼を損ない、公務に対する信用を著しく失墜させる行為として厳正に対処して

児童虐待について

問 子育て支援に係る相談を切り口にした児童虐待の未然防止への取組についての展望と進捗状況は。

答 子育てに悩む保護者を対象に、子どもには生まれ持った特性があり、成長の度合いも個人差があるこ

とを理解し、子どもの特性に応じた接し方を学んでもらうとともに、保護者自身のストレスマネジメントのノウハウを身に付けてもらうことを目的とした講座の開催を検討している。

問 子どもに関する情報の照合により、リスク判定を行えるような新たな仕組みの進捗と今後の展望は。

答 先般、試行的に要保護児童の乳幼児健診の受診履歴や、こども医療費助成の利用状況を調査したところ、受診率等が低調であるなど、一定の相関関係が見て取れたことから、その他の情報についても、引き続き検証を進め、リスク判定に有効な仕組み作りを進めたいと考えている。

学校スポーツ施設の開放について

問 望が丘小学校・中学校の体育館について、夜18時以降の開放は十分に可能であると考えますが、見解を伺う。

答 現在、学校及び関係機関と調整を行い、早期の開放に向けて調整を進めている。

公明党市会議員団

「声」を生命線に

現場の実現力へ！

村上 順一
岡 由美
坂口安喜子
高見 雄介
武田由利子
辻谷 恵一

骨密度検診について

問 現在エックス線で実施している骨密度検診の超音波検査の導入は。

答 導入に向け検討を進めている。他の健診も含め、その重要性が効果的に伝わるように検討していく。

レディース検診について

問 レディース検診のキャンペーン実施について見解を問う。

答 特に若い世代で罹患率が高い、女性の乳がんと子宮がんの早期発見が非常に重要と考えており、受診率向上のためのレディース検診及びキャンペーンについて検討していく。

災害時の「福祉的な支援」について

問 日本災害リハビリテーション支援

地域包括支援センター運営について

問 職員の体制及び委託料の見直しについて見解を問う。

答 適切に運営できる体制に向けて検討していく。

介護サービス・介護認定について

問 申請から30日を守るべく、根本的な解決策の検討はなされているのか。

答 市民生活に支障を来さない体制

買物・交通不便地域について

問 同地域への支援について市の見解を問う。

答 今後、既に広域で同種の事業を展開する事業者等との連携も含めて、市が主体的に買物支援の在り方について検討していく。

認知症になっても安心な街について

問 一月に開催の認知症啓発イベントの周知啓発について見解を問う。

答 認知症の理解促進や認知症の方、その家族が活躍できる場をつくることを目的に、多くの方に参加いただけるイベントとして開催していく。

ねやバスについて

問 バスの乗り降りの際、不自由を感じる方がおられる。乗降口にステップを装備して欲しいとの要望があるが、対応は可能か伺う。

答 シルバー世代等の方から、乗り



“幸齢社会”へさらなる推進

ヒアリングフレイルの予防について

問 ヒアリングフレイルの予防の啓発のための講演や聴覚補助器等の積極的な活用促進のための相談会の開催を要望するが見解を問う。

答 高齢者にヒアリングフレイルの予防の必要性や聴覚補助器等の有用

性を知ってもらうことは大切であると認識しており、他市での取組事例を参考に検討していく。

防災備蓄品について

問 災害時に命を守る備蓄品について、本当に必要な備蓄品や数などを記載した防災備蓄品のチェックリストを新たに作成し、市民への周知を要望するが見解を問う。

答 全戸配布している「命を守るワガヤノ防災」に、チェックシートを掲載済みであり、今後、必要な数など

をより分かりやすくお示しできるように、市広報誌やホームページ、防災訓練などを通じて周知に努める。

中学校吹奏楽部楽器修繕等について

問 安定的な修繕費用をつけて頂きたいが見解を問う。

答 修繕が必要な状況を把握し、必要に応じて対応していく。

吹奏楽部楽器搬送費用について

問 楽器搬送費用については、昨今

**自由民主党市会議員団
高齢社会対策及び予防保全の
政策提言（市役所本庁舎・駅前庁舎）**

森本 雄一郎
金子 英生
北川 千尋
北川 健治

高齢社会対策

問 高齢者対策の意義について伺う。

答 労働力人口が減少する中で、現在の介護保険制度を維持するためには、介護予防の取組を進めつつ、高齢者が自立し元気に暮らせるよう、地域で支え合い暮らせるまちの実現を図ることが重要であると考える。

問 デジタル等のテクノロジーを始め、社会生活に必要な分野を中心に、生涯学習の内容の更なる充実を図るべきと考えるが見解は。

答 高齢者の情報取得のスキルを高める支援は大変重要であると認識しており、関係部局、民間事業者との

連携した取組を進めていく。

市役所本庁舎の高圧受電設備

問 市役所の本庁舎は、市の業務を行う上で中枢機能を担う施設で、一番大事で重要な基幹施設である。その重要な施設の電源が喪失すると市役所全体の機能が止まる。現在使用している高圧受電設備のトランスやコンデンサー等の設置経過年数は。

答 トランスが33年、コンデンサーが22年経過しているが、毎年の点検では良好であり、更新の必要性が高いものから計画的に更新している。

問 キュービクル式に改修すべきと考えるが、見解は。

の運送費の値上がりは顕著である。見直しを求めるが見解を問う。

路面下空洞調査について

問 路面下空洞調査は一回行って安全を確保できるものではない認識に立つべきである。路面下空洞調査を計画に乗せ、着実に進めていく必要があると考えるが見解を問う。

答 路面下空洞調査の計画的な調査

問 今後、福祉部機能の本庁舎移転に伴う庁舎改修時において、設備も含めた施設の老朽化対策等が必要であると認識しており、設置場所を含めて検討していく。



市役所本庁舎地下に設置の高圧受電設備

学校給食

問 昨今の価格高騰が学校給食にもたらす影響について市の認識を伺う。

については、地震や豪雨など、道路地盤への影響が考えられる事象をとらえ、効果的に実施していく。

かやしまりバージョンについて

問 市としての「下町」の定義について見解を問う。

答 庶民的な生活感が感じられるまちであり、蒼島駅周辺は昭和の雰囲気や下町の風情が残り、この要素をポテンシャルと捉え、「まちの個性」をつくる方向性をもってまちづくりを進めていく。

学習のしやすい環境整備

問 猛暑による、教室における暑さの状況に関して、全般的な現状調査が必要と考えるが、見解を伺う。

答 児童生徒の健康に関わることであるため、各学校の現状を丁寧把握するよう努める。

駅前庁舎内のセキュリティ

問 先回の一般質問で駅前庁舎外の安全管理について質問と提案をした。庁舎レイアウト配置図を見たが、

オープンスペースにサーバ室があり、ほぼ特定した者・関係者のみが入り出る学舎の時に不特定多数の非所属者が多く出入りする市役所窓口空間とでは性質を異にする。同じ空間であつても用途によつて安全管理に違いが出る。

さらにサーバ室の真上に比較的広い水回り施設がある。改善し、その脆弱性を削がなければならないが、見解は。
答 国のガイドラインに沿った対策を講じることで適切な管理ができるものと認識している。

シン・ネヤガワ議員団

市民のための新たなまちづくり

板東 敬治
 西尾 勝成
 馬場 才
 久野須賀子

公園の在り方について

問 今夏に実施されたねやがわブルズ事業の予算は5千5百万円であるが、市民1人当たりの費用は。

答 現在精査中だが、市民の子どもの参加人数は4954人である。

問 打上川治水緑地に計画する水遊び空間はじゃぶじゃぶ遊べる施設か。



じゃぶじゃぶ水遊び一例

旧第四中学校の活用について

答 内容は現在、検討を進めている。
問 毎月の公園使用許可の申請頻度の緩和を要望するが、緩和時期は。
答 公園利用者の利便性の向上につながるよう、早期に示したい。

問 校舎棟と体育館は、文化と健康を前面に打ち出した施設としては。
答 まちづくりの進捗等による寝屋川公園駅周辺の人口増加の状況等を踏まえ、総合的に検討する必要がある。

問 旧第四中学校単体が寝屋川公園駅周辺全体での検討となるのか。
答 検討に当たつて、寝屋川公園駅周辺地区のまちづくりの中で、課題、情報共有等を行っている。

問 次年度からは、体育館やグラウンドの市民への貸出しは可能か。
答 現状としては考えていない。

問 不断に貸出しの検討をお願いしたいが、貸出しできない理由は。特段理由は無いが、日頃管理する

者がおらず、利用者の安全性も考慮し総合的に考える必要がある。

健康施策について

問 本市中心部などでのウォーキングコースの開拓を要望するが見解は。
答 対馬江大利線など広幅員の歩道を持つ道路等について検討している。

問 みんなで取り組める健康づくり事業を提案するが見解は。
答 本市の特色ある健康づくり事業を構築していく中で検討している。

災害ごみ・火災ごみについて

問 災害発生時のごみ処理リーフレットなどを作成し、市民に周知すべきと考えるが見解は。
答 他市の事例も含め検討していく。

問 居住者がいない事業所で起こった火災ごみの引き取りへの見解は。
答 他市事例を参考に調査研究する。

南海トラフ臨時情報について

問 「巨大地震警戒」は避難所などの準備が必要だが、高齢者施設などへの事前説明はどうするのか。
答 「巨大地震警戒」の内容については地域防災計画に明記しており、高齢者施設等にも周知に務めていく。

こども誰でも通園制度について

問 令和8年度の本格実施に向けた本市のスケジュールは。
答 国で試行的事業の検証等が進められており、今後発表される検証結果の内容を十分精査し、保育現場の状況

等も勘案し課題の分析を進める。

訪問美容について

問 訪問美容利用助成を廃止して約5年になる。高齢者の環境の変化を踏まえ助成を要望するが見解は。
答 ニーズの変化や他市動向を注視していく必要があると考える。

全員協議会を開催

市政に関する案件についての説明を受けました。

開催日 令和6年7月29日(月)

案件名 古川雨水幹線バイパス管工事の進捗状況等について



詳細は、QRコードから御参照ください。

ねやがわ議会だよりのサブタイトル

ことだまに決定しました!!

ことだまの由来は…?

「議会」は言葉で意思や意見を表現し、議論によって物事を決める場であり、議会だよりは議員一人ひとりが思い(魂)を込めて発信した「言葉の力」(内容)であるとの思いから「ことだま」としました。

日本共産党市会議員団

ジェンダー平等

非正規労働者の待遇改善を

中林 和江
西田 昌美
松尾 信次

女性・非正規労働者の賃金改善を

問 寝屋川市役所の全職員で、女性の賃金は男性の62.8%。大きな格差がある。非正規労働者の待遇改善、正規職員への転換を進めること。

答 性別による処遇水準の違いは一切ない。非正規労働者は、新たな募集方法や、社会経済情勢を踏まえた処遇改善も検討を進めている。

万博校外学習、子どもの意見尊重を

問 万博校外学習について当事者である子どもの意見は聞かれていない。きちんと説明し、意見を聞くこと。

答 現在、中学生サミットで校則などについて子どもの意見を聞いています。校外学習などについては、学校の計画の中で決定している。

高齢者施策の拡充を

問 地域包括支援センターの欠員解消のため、現状4人を5人体制にする。経験値と在職年数を柱とする専門職の処遇改善などを求める。

答 後期高齢者が増加するので適切に運営できる体制の構築を検討する。



市内の地域包括支援センター

問 携帯電話でも緊急通報システムが利用できることの周知を求める。

答 効果的な周知方法を検討する。

ひとり親家庭へ支援を

問 就学援助の二人世帯の所得制限について近隣市並への改善を求める。

答 本市が全体として低い水準ではないが、制度の充実に努める。

子育て支援の拡充を

問 長期休暇中の留守家庭児童会の昼食の提供を求める。

答 今年度冬休みからの実施に向け他市事例の調査研究を行っている。

声の議会だより・点字版議会だより 発行しています

目の不自由な方のために、紙面の内容を録音した「声の議会だより」「点字版議会だより」を発行し、御希望の方に無料で郵送しています。御家族やお知り合いの方などにお知らせください。お電話で申込みができます。



議会事務局 ☎072-824-0010 (直通番号)

教職員の働き方改革について

問 教員が実際に行った時間外勤務については給特法の調整ではなく、残業代を支給することを国・府へ要望するよう求める。

答 大阪府都市教育長協議会などを通じて国・府へ要望している。

議 会 日 誌

【7月】
29日 全員協議会

【8月】
8日 幹事長会

22日 議会運営委員会／幹事長会

26日 議会広報委員会

28日 本会議（第1日）／予算
決算常任委員会

【9月】

2日 健康福祉常任委員会（※）

3日 文教生活常任委員会（※）

4日 総務都市創造常任委員会（※）

（※）各常任委員会終了後に
に予算決算常任委員
会分科会を開催

5日 予算決算常任委員会／議
会運営委員会

11日 本会議（第2日）

12日 本会議（第3日）

13日 本会議（第4日）

18日 健康福祉常任委員会協議会

19日 文教生活常任委員会協議会

2019年 総務都市創造常任委員会
協議会

24日 議会運営委員会／本会議
（第5日）

【10月】

7日 予算決算常任委員会健康
福祉分科会

8日 予算決算常任委員会文教
生活分科会

9日 予算決算常任委員会総務
都市創造分科会

15日 議会広報委員会



9月定例会 議決結果一覧



議案番号	件名	議決結果
認定第1～8号	令和5年度寝屋川市一般会計歳入歳出決算認定（他5特別会計、2公営企業会計）	閉会中の継続審査
報告第9～11号	令和5年度寝屋川市一般会計継続費の精算報告（他2件）	報告終結
議案第47号	寝屋川市執行機関の附属機関に関する条例の一部改正	可決
議案第48号	寝屋川市国民健康保険条例の一部改正	可決
議案第49号	寝屋川市空き家等の適正管理等及び老朽危険建築物等に係る対策の推進に関する条例の一部改正	可決
議案第50～56号	令和6年度寝屋川市一般会計補正予算（第5号）（他6件）	可決
議案第57号	財産の取得（校務用パソコン）	可決
議案第58号	財産の取得（（仮称）駅前庁舎の整備に係る備品）	可決
議案第59号	損害賠償額の決定	可決
議案第60号	大阪府後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議	可決
議案第61号	大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及び大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議	可決
議案第62号	令和5年度寝屋川市水道事業利益剰余金の処分	可決
議案第63号	令和5年度寝屋川市下水道事業利益剰余金の処分	可決
議員提案第7号	動物虐待や生活環境被害発生時への対応強化に関する意見書	可決
議員提案第8号	自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書	可決
議員提案第9号	慢性閉塞性肺疾患（COPD）の潜在的な患者に対する適切な対応を求める意見書	可決
議員提案第10号	今後の新型コロナウイルス感染症の流行に対する経済的支援を求める意見書	可決

予定 12月定例会の案内

本会議・委員会は午前10時を予定しています。
議事の都合で変更される場合があります。

※11月27日に議会運営委員会が開催されます。

市議会を 傍聴しませんか？

市議会が開かれる本会議・委員会の様子はどなたでも傍聴することができます。

詳細は市議会ホームページをご覧ください。



日	月	火	水	木	金	土
12/1	2	3 本会議	4 健福	5 文教	6 総務	7
8	9 予算決算・議運	10	11	12	13	14
15	16 本会議（一般質問）	17 本会議（一般質問）	18 本会議（一般質問）	19 議運・本会議	20	21

健福：健康福祉常任委員会・分科会 文教：文教生活常任委員会・分科会
総務：総務都市創造常任委員会・分科会 予算決算：予算決算常任委員会全体会
議運：議会運営委員会